

Mori wo Tsunagu TOKYO Project

「森を、つなぐ」東京プロジェクト 森を起点に、事業を通して社会課題を解く挑戦が始まる

Landscape Approach

ランドスケープアプローチで自然と都市の共生を

このプロジェクトでは、東京の自然と都市を舞台に、自然環境と人間活動の観点から課題解決を導き出す「ランドスケープアプローチ」と呼ばれる手法を用いています。他地域でも汎用性がある、自然と都市の持続的共生のモデルケースを確立することで、社会的インパクトの創出と新たな価値の創造に伴う企業成長を目指しています。

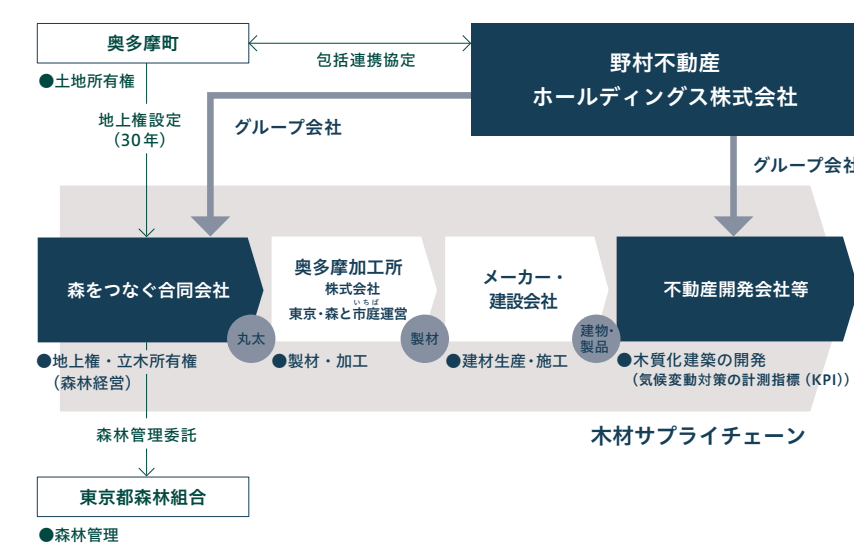


FOREST CREATION & DECARBONIZATION

森を源流として、都市、共生、未来へ

豊かな森林は、木材を生産するだけではなく、大気中のCO₂を吸収し、水源や土壌を守り、川や海を含めた生物多様性にも寄与します。野村不動産グループは、奥多摩町に保有するこの森を「つなぐ森」と名付け、森林の多面的機能を発揮させる循環する森づくりに挑戦しています。

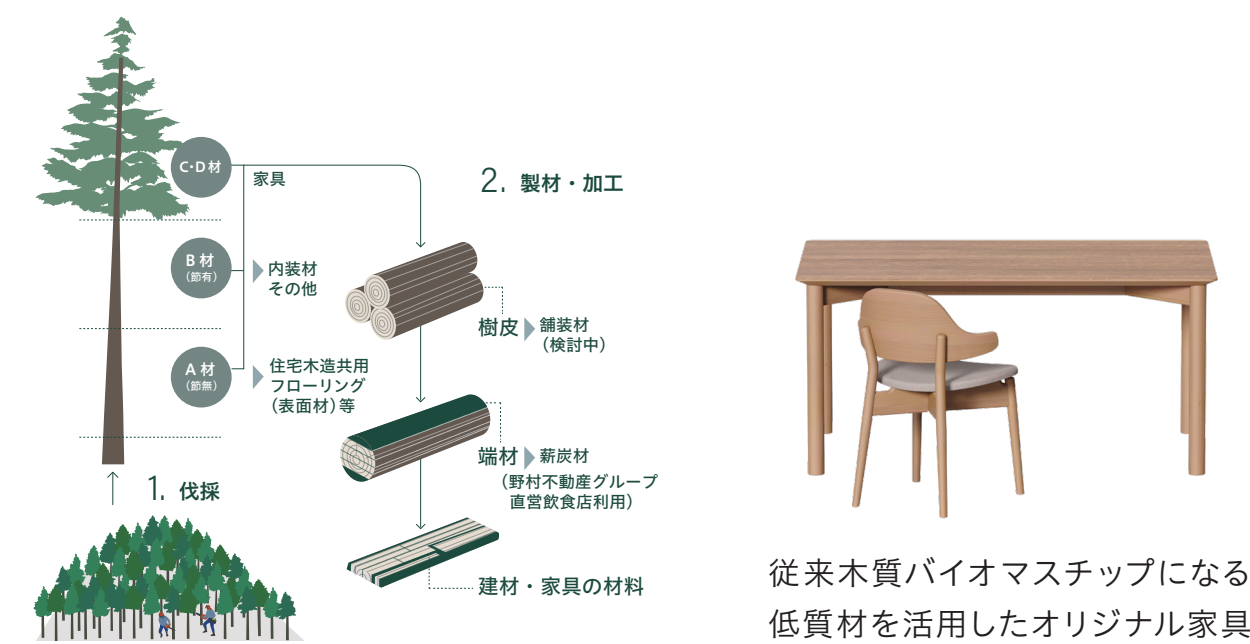
不動産デベロッパーが木材を生産し、サプライチェーンへの投資を促す



森林サイクルを促進し、CO₂吸収量を増幅



1本の木の価値を高め、森林全体の荒廃を防ぐ



BIODIVERSITY

生物多様性の損失を食い止め、 ネイチャーポジティブへ

地球環境の負荷から生物の生存が脅かされ、自然の恩恵が失われつつある中、野村不動産グループは、国際社会と同調し、生物多様性の保全と回復を目指すネイチャーポジティブを推し進めています。

生態系管理計画で特定したつなぐ森の目指す姿

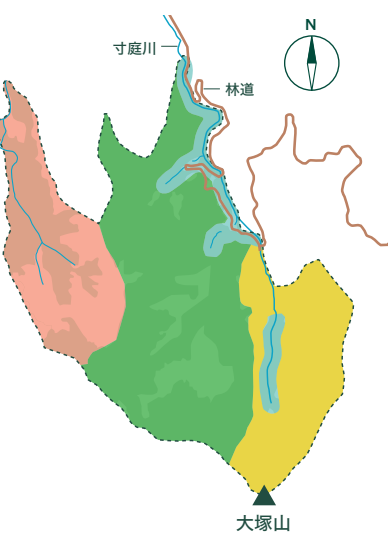


生物多様性有識者会議の設置とモニタリングの実施



つなぐ森のゾーニング

- 生態系保全ゾーン 人工林の間伐や天然林の保全を通して原生的な生態系を目指す区域
- 木材・生物共生ゾーン 生物への配慮と共に人工林の森林サイクルを促し木材生産を図る区域
- 溪流保全ゾーン 人為的な影響を抑え、溪流と溪畔林の環境保全を図る区域
- レクリエーションゾーン 文化的サービスを通して訪問者の行動変容を促す区域



SOCIAL CAPITAL & DIVERSITY

多様性が、新たな価値を創造する。

プロジェクトを通して社会・関係資本の構築を目指すとともに、多様な組織や人々の結びつきが育むダイバーシティを推し進め、新たな価値の創造に挑戦し続けます。

